

ある日の育児日記から

(73)

佐藤 和代



今年、圭は七歳、有は数えて五歳。七五三はとうしようかと迷ったのですが、不信心者がいままらお宮参りもね。で、当日は遊園地へ、写真だけ貸衣装付きの写真館で、ということにしました。さて、写真館でまず衣裳選びです。圭は薄紫のロングドレス、有は黒いタキシード。わー、お姫さまと王子様みたい、とはしゃいでいるのは私と圭だけ。有は慣れない場所と慣れない衣裳でコチコチに固まって「お名前は?」と聞かれて声も出ず。まずいな、こんな顔で写真とられるのか。ところがカメラマンのお兄さんは慣れたようす

で、ミッキーとミニーの人形を出してきました。「さあ、ゲームしよう。どっちが出るか、よく見てね」カメラの上に一瞬人形を出してすぐ引つ込めます。「どっちだった?」二人が「ミッキー!」叫んだところでパッチリ。なるほど。これって、お子様向けの「ハイ、チーズ」なのね。そして、何度かゲームをしているうちに有も緊張がとけ、本当の笑顔が出てきました。そこをすかさずまたパチリ。かくて笑顔の七五三写真が出来上がり。

いやあ、うまいな。子どもを扱うプロって、いろんなところにいるものだと、感心してしまいました。

